

1 主題構成表

主題名 セルフジャッジ
 教材名 セルフジャッジ

<p>■内容項目 C 規則の尊重</p> <p>法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級の仲間の規範意識や善悪の判断が欠如した振る舞いには比較的関心が高い。しかし、日常生活において、権利や義務といった観点から自他の行動について考えたり、それらを尊重したりすることはまだまだ少ない。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールは守らなければならないと理解はできているが、その場の空気に流されてしまったり、これぐらいならいいやという気持ちが先に出たりしてしまう。 権利や義務といった観点と、よりよく生きたいという思いとの間に隔たりが存在している。 	<p>■教材の分析</p> <p>セルフジャッジ</p> <p>主人公がクラスのみんなと遊んでいる時の出来事が描かれており、児童には身近な内容となっている。審判を置かず互いの判断で試合を進めるセルフジャッジでサッカーをしたところ、それぞれのチームがやりたい放題になり、試合がおもしろくなる。「好き勝手するからだ」と、どの児童にも道徳的課題は捉えやすい。「ゲームがおもしろくなくなったのはなぜか」を考える過程で、セルフジャッジの理念と好き勝手を比較し、規則の存在意義について考えられる教材である。セルフジャッジの中でルールを遵守することが主人公にとってどのような意義があるのかを考えさせたい。</p>
<p>■ねらい</p> <p>ルールやマナーが何のために存在するのかを考えることを通して、それを守ることがモラルを高め、より楽しく生活できるということにつながることに気づき、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとする態度を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにどんなきまりがあるか、それらは何のためにあるのかを考えさせる。 導入で考えたことを意識させながら、教材を読むように促す。 「セルフジャッジというルールについて、どう思うか。」という問いを投げかけ、児童の考えをプラス面とマイナス面に整理して板書をする。 「ゲームがおもしろくなくなったのは、なぜでしょうか。」という中心発問を投げかけ、好き勝手をするのが楽しい生活にはつながらないことに気付かせ、きまりの存在意義への理解を深める。 「きまりは何のためにあると思うか。」と問い、きまりの存在意義について考えさせる。 これまでの生活を振り返り、これからどのように生活したいか考えることで、きまりを守るための課題を考え、きまりを守っていこうとする気持ちを高める。 	<p>■判断力・心情・実践意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○[中心発問] 『ゲームがおもしろくなくなったのは、なぜでしょうか。』という問いで、好き勝手をするのが楽しい生活にはつながらないことに気付かせ、きまりの存在意義への理解を深める。 ○[学習形態] 中心発問の際にグループ交流を位置づけ、ルールを守らなかったからゲームがおもしろくなくなったことを認識し、きまりを守ることが、自分たちの生活を守ることにつながることを理解する。 ○[言語活動] これからどのように生活したいか考えることで、自分の良心に従い、誠実に生きようとする気持ちを高める。 	
<p>■道徳科と他の教育活動との関連</p> <p>道徳「救急車」 → 体育科「ソフトバレーボール」 → 道徳「セルフジャッジ」</p> <p>きまりが何のために存在するのかを考え、その意義を理解し、進んでそれらを守ることを通して、安心した生活をつくり、よりよい人間関係を築いていこうとする。</p>		

学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇身の回りにおけるきまりについて考える。</p> <p>○みなさんの身の回りには、どんなきまりがありますか。また、それについてどう思っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下は右側を歩くと分かっているが、つい通りやすいように動いてしまう。 ・下校時には、静かに座って待つことになっているが、まだいいか…と友達とおしゃべりをしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおけるきまりを確認し、ねらいとする価値への方向付けをする。 ・きまりは必要であるという思いはもちながらも、窮屈に感じている気持ちを引き出す。
展開前段	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> きまりは何のためにあるのかを考えよう。 </div> <p>◇教材「セルフジャッジ」を読んで話し合う。</p> <p>○主人公について知る。</p> <p>○線を引いたところを発表する。</p> <p>○セルフジャッジについて、どう思いますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>良い（賛成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが遊べる。 ・ルールを分かっているら、審判がいなくてもできる。 ・短い休み時間で遊ぶものなら、そこまで細かく審判をしなくてもいい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>悪い（反対）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審判がいないと、もめるかも知れないから。 ・公平にならない。 ・ルールを守らない子がいて、いやな気持ちになったから。 </div> </div> <p>◎ゲームがおもしろくなくなったのは、なぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守らなかったから。 ・「これくらいなら大丈夫」という気持ちで、だんだん好き勝手に始めたから。 ・ルールを指摘されても、ごまかしてしまったから。 ・みんなが好き勝手にしてしまって、無茶苦茶になったから。 ・好き放題にやってしまって、サッカーではなくなったから。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がきまりを守れば、楽しめる。 ・周りの指摘を素直に聞いて、態度を改める。 <p>○きまりやルールは、何のためにあるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが安全に楽しく過ごすため。 ・きまりを守ることで、周りの仲間だけでなく自分も楽しく過ごすため。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【まとめ】</p> <p>きまりやルールは、自分や相手の生活を守り、みんなが安心して楽しく過ごせるようにするためにある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・わ「わかる」、す「すごい」、ど「どうして」の観点の中から、特に「どうして」に着目して線を引けるように促す。 ・サッカーの最低限基本的なルールについて、簡単に触れておく。 ・日常的に行っているセルフジャッジによる遊びから、その良さや課題（これまでにあった問題）を想起させる。 ・セルフジャッジについてどう思うのかをそれぞれの立場で交流することで、多様な考え方があことに気付かせる。 ・主人公はサッカーが好きであり得意であること、この学級遊びを楽しみにしていたことを意識させ、楽しかったゲームがどんどんおもしろくなくなったときと対比しやすいようにする。 ・グループ交流を位置づけることを通して、踏みとどまる場面は何度もあったのに、自分たちの楽しみばかりを優先してしまった主人公の弱さに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【深めの発問】</p> <p>★セルフジャッジでもみんながおもしろくなるように遊ぶにはどうしたらいいのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフジャッジだったからおもしろくなくなったのではなく、きまりを守らなかったことによる不公平感や、周りの意見が聞けず仲間を思いやれなかったことであり、それがおもしろくなくなったことにつながっていることに気付かせる。 ・きまりやルールはみんなが安全に楽しく過ごすことができるようにするためにあることを理解させる。
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○これまできまりを進んで守ることができたか。今後、きまりやルールを守るときに、気を付けたいことはどんなことか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分見つめの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で学んだこと ・これまでの自分 ・これからの自分 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験から、きまりやルールを守るための自分の課題を考え、きまりやルールを守っていきけるようにする。 ・机間指導で、学校や普段の生活での様々な場面を問い、これからどうしていくか具体的な場面を想像しながら考えることができるようにする。
終末	<p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これくらいなら大丈夫」という弱い気持ちに負けず、きまりやルールを守って行動したい。 ・廊下を走ってしまったことがあったが、急いでいて自分のことしか考えていなかった。これからは、周りのことを考えて行動したい。 	<p>〈変容の見届け〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分本位な考えで、きまりやルールをないがしろにしていた児童が、その存在意義を理解して、進んで守ろうという気持ちをもつことができたか。